

Half



半期活動レポート

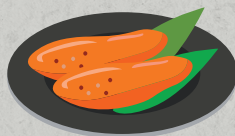
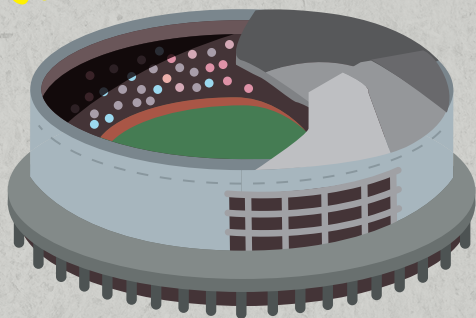
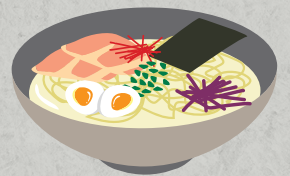
Yearly



Report



2024年4月-10月



CONTENTS

半期活動レポート（2024年4月-10月）

P. 01 > Fukuoka Smart City Communityについて

P. 02 > 進捗のご報告

① 「はぐくむふくおかプロジェクト」

▶ プロジェクト概要

▶ 目指す状態

P. 03 > ▶ 意見・アイデア交換会「はぐくむ井戸端会議」

P. 04 > ▶ 参加者のアンケート

P. 05 > ② 福岡大学附属大濠中学校職場体験

▶ 各社プログラム一覧と実施の様子

● 株式会社グッデイ ● 九州旅客鉄道株式会社

● 西部ガスホールディングス株式会社

P. 06 > ● 西日本鉄道株式会社 ● 株式会社福岡銀行

● LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社

● 株式会社西日本シティ銀行

P. 07 > ▶ 参加者の声（一部抜粋）

その他の共創プロジェクト

■ 「はぐくむふくおかプロジェクト」発！

楽しみながら学べる金融ゲームが誕生！

P. 08 > 定例での活動について

▶ 全体会議（毎月1回）

▶ 「プロジェクトF」

Fukuoka Smart City Community について

次の100年も、みんなで福岡をつくるんだ

これまでの100年で、福岡は大きく成長を遂げました。

まちに誇りを持ち、よりよくするための声を唱えてきた市民、
暮らしの基盤となるサービスを生み出してきた企業、
自治体や学校も、みんなで作ってきたのが今の福岡です。

私たちFukuoka Smart City Communityは
次の100年もそうであって欲しいと願い、
みんながまちづくりに携わる場や機会をつくります。

日々、多くの市民と接する企業が集まる多様なコミュニティだからこそ、
今後ますます複雑化するまちのニーズに丁寧に向き合いたい。

デジタルに限定しない解決策をみんなとともに考え、解決していくことで、
福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献します。

私たちが大切にすること

市民のニーズをもとに、 持続的な地域社会貢献に 取り組む

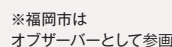
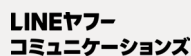
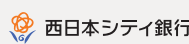
福岡に根ざす企業・自治体(オブザーバー)
の共同事業体として、市民の納得・満足を
追求しながら活動し続けます。

自治体/企業/市民の セクショナリズムを超える

異なる専門知識やスキル、バックグラ
ウンドを持った企業が組織や役割を超え
てより高い価値を提供します。

抽象的な議論より具体的な アウトプットを重視する

各企業のアセット活用などデジタルに
限定しない柔軟なアイデアで、市民のため
にできることをどんどん実行します。



私たちはこれからも、その時々まちや市民のニーズと向き合い、課題を解決したり可能性を広げたりすることを目指して
施策の実施を進めてまいります。

進捗のご報告

1

「はぐくむふくおかプロジェクト」

■ 地元企業や市民とともに福岡の子育てを応援するプロジェクト

▶ プロジェクト概要

企業が子育てにまつわる7つのテーマについて、市民や企業関係者から意見やアイデアを集め、それぞれのテーマが福岡の市民にとってより良いものになるような仕組みを考え、実際に実践していくプロジェクト。

● 取り組みの具体例

- ・他の企業でも横展開可能なテンプレートやルールを作成。
- ・市民の方でも簡単に実践できる考え方やアクション、スローガン

「はぐくむふくおかプロジェクト」公式サイト：
<https://lin.ee/E3NWPb6/prmt/fsc/pr>



▶ 目指す状態

テーマに沿ったトライアル施策を毎月実施することで、「子育て」施策が今後まちに増えていくための火種を作る

まずはFSC会員企業内からでも、まちに実際の変化を生み出すことにつなげる



FSC内部で検討を重ね、子育てに関連する「はぐくむ7つのテーマ」を設定。FSC参画企業が2社ずつペアを組み、毎月異なる「子育て」テーマについて座談会やアイデア交換会を実施し市民と企業が一体となって新たな「はぐくむアクション」を考えています。4月から10月の期間では下記の3つのテーマに注力して活動を展開しました。

テーマ	豊かなコミュニティをはぐくむ	安心感をはぐくむ	大人のチャンスをはぐくむ
目的	地域内での人との繋がりを広げ、強化する	子どもが守られる社会をつくる	保護者の体験・機会を増やす
担当企業	 西日本シティ銀行  西部ガスグループ いつもの朝と新しい明日を。	まちに、夢を描こう。  Nishitetsu Group  福岡電力株式会社 FUKUOKA ELECTRIC COMPANY	 JR九州  GooDay

〈実施背景〉

福岡市は国内外のあらゆる人から選ばれるまちであり続けるための取り組みの一環として、子育てや教育に重点を置いています。福岡市の予算内訳(令和5年度版)*でも、全体予算の26.8%が子供の育成や教育に割り当てられました。FSCとして福岡の企業発で、「子育て」に前向きな機運を醸成し、福岡が将来にわたって子育て世代に選ばれる街であることを目指し、福岡の地元企業として子育てを応援する取り組みです。

*出典：福岡市HP「令和5年度予算各局等見積(要求)額の状況」/2023年3月16日

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/zaisei/shisei/5kyokumitumori.html>

意見・アイデア交換会「はぐくむ井戸端会議」

毎月「子育て」に関するテーマを決め、企業関係者や市民と実際に意見やアイデアを出し合う会

実施月	実施内容
6月	「本のおさがり」を通じた豊かなコミュニティづくりを考える座談会
7月	はじめてのおつかいの視点でみる福岡のまち歩き
8月	大切な家族を守ろう体験して考える防災対策

▶実施した施策の詳細

「本のおさがり」を通じた豊かなコミュニティづくりを考える座談会 子育て×コミュニティ [実施月:6月]



会場: The Company DAIMYO (株式会社西日本シティ銀行)
レポート公開中! https://note.com/fsc_community/n/n8d64b00a1b0a



「豊かなコミュニティをはぐくむ」をテーマにFukuoka Smart City Communityに参画企業の若手メンバー13名が、一市民として3つの班に分かれディスカッションを行いました。今回の座談会では、「子育て中の家庭に本を『おさがり』として送る仕組み」をテーマに、各班が意見を出し合い、子育て世代と未経験世代の交流を促進するためのアイデアを話し合いました。

はじめてのおつかいの視点でみる福岡のまち歩き@博多バスターミナル 子育て×まち [実施月:7月]



会場: 博多バスターミナル(西日本鉄道株式会社)
レポート公開中! https://note.com/fsc_community/n/na3b7f17fd9c5



「安心感をはぐくむ」をテーマに、福岡の街が親子にとってどれほど安心して暮らせる場所なのか、そしてどのような工夫があればさらに良い街になるのかを考える座談会を実施しました。今回は「はじめてのおつかいの視点でみる福岡のまち」という視点から、参加者たちが博多バスターミナルを実際に歩き、子どもへの配慮が行き届いている点や、もっと工夫があると良いと感じた点をディスカッションしました。博多バスターミナルの社員の方々にもご参加いただき、「今すぐ取り組みそうなことが多く、大変勉強になりました!」との感想が寄せられました。

大好きなふくおかの未来は
あなたとわたしでつくりたい。



大切な家族を守ろう体験して考える防災対策 @ABURAYAMA FUKUOKA

子育て×防災

[実施月:8月]



JR九州

×

GoDay

「大人のチャンスをはぐくむ」をテーマに、「大切な家族を守る防災リュック作り」ワークショップを実施しました。参画企業グッデイで実際に販売されている防災グッズを体験しながら、医療のプロである宮川氏(医師)と内田氏(看護師)をゲストに、被災地での経験をもとにしたお話を伺いながら「自分の家族を守るならどう備えるか」意見を出し合い、日常に取り入れられる防災について考えました。

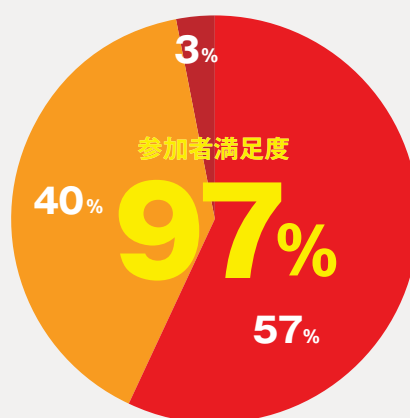
会場: ABURAYAMA FUKUOKA (九州旅客鉄道株式会社)
レポート公開中! https://note.com/fsc_community/n/n7ad66e78366e

▶参加者アンケート

井戸端会議参加の満足度

出典:「はぐくむ井戸端会議」参加者に向けたアンケート/2024年4月~8月/n=42人

参加者向けの事後アンケートでは
毎回大変好評をいただいています。



■ 大変満足
■ 満足
■ その他

~参加者の声~

- エレベーターの問題は普段買い物している時感じていたので、直接会社の方に言えてよかったです。また子供をウェルカムな姿勢で居てくださるのもありがたいです。
- 地場の企業の方々と交流できる貴重な機会を楽しめました。
- 子供の有無に関係なくこのような会は防災に関する意識が高まると思います。



▶ ゲスト講師のコメント



医療従事者
(参加者)

医療職の方々と防災訓練を行う機会はこれまでもありましたが、異業種の皆さんと意見を交わすのは初めてで、とても新鮮でした。グループでの意見交換はとても活発で、時間が足りないくらいそれぞれの立場からアイデアや体験を共有できる場として、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。
また、一緒に参加した講師の方の防災リュックも関心を持っていただき、楽しみながら学べる素敵な機会だったと思います。今後も、ぜひこうした場に参加させていただければ嬉しいです。

小学生向け学習コンテンツ公開



「はぐくむふくおかプロジェクト」発！
楽しみながら学べる金融ゲームが誕生！

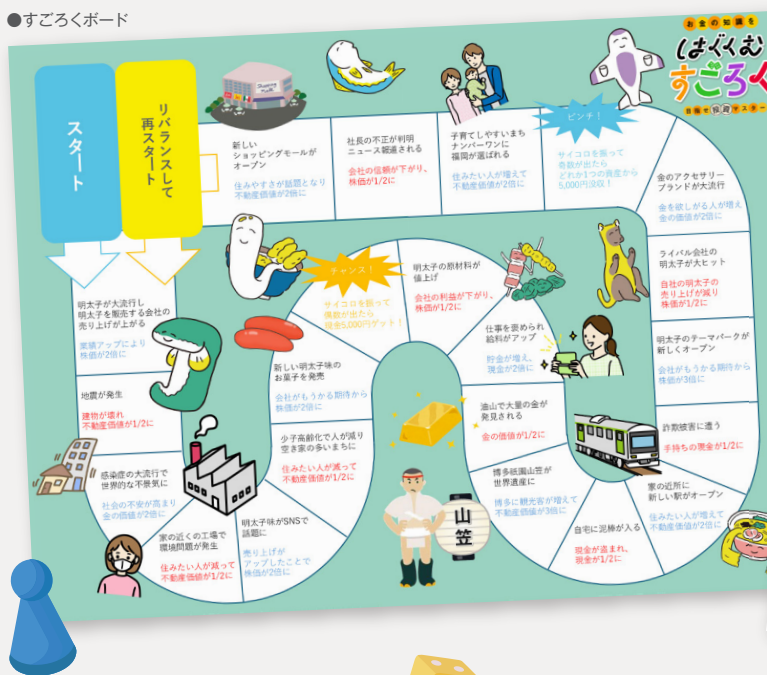
FSCが取り組む「はぐくむふくおかプロジェクト」から、未来を担う子どもたちの金融リテラシー向上を目指した小中学生向け金融ボードゲーム「はぐくむすごろく」プロトタイプが完成！

企画：Fukuoka Smart City Community
監修：株式会社西日本シティ銀行 株式会社福岡銀行
Supported by LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社

このゲームは、「はぐくむプロジェクト」公式サイトより無料でダウンロードいただけます。

▼ダウンロードはこちらから
<https://fukuoka.smartcity-community.jp/hagukumu/202307/report/>

●すごろくボード



●投資シート



2 福岡大学附属大濠中学校 職場体験

Fukuoka Smart City Communityでは、「みんなで福岡をつくる」を体現するためのアクションの一環として将来のまちの担い手である学生たちとの協働にも力を入れています。2024年10月には、福岡大学附属大濠中学校の2年生約150名がFukuoka Smart City Communityの会員企業のオフィスやビジネスの現場を訪問する職場体験企画を実施しました。各社が金融・小売・交通・ITなどの実施テーマを掲げ、生徒が訪問先を選択する形式で、見学や体験、ワークショップなどのプログラムに参加しました。



構成	内容	目的
第1部	職場見学・体験	実際に体験をし、現場を知る
第2部	ワークショップ	体験したことを活かし、自分で考え、意見を出す

Goody グッデイ <テーマ> いま知らないとヤバイ! ホームセンター

第1部	職場見学・体験	グッデイ姪浜店ツアー
第2部	ワークショップ	・災害時の避難する際に役立つ 防災リュックづくり ・DIYの塗装体験



JR九州 <テーマ> 地域が盛り上がる未来の駅や電車を考えてみよう!

第1部	職場見学・体験	博多駅 施設見学
第2部	ワークショップ	地域の課題解決を題材とした ワークショップ ~どのような駅や電車があると 地域活性化につながるか~



西部ガスグループ いつもの朝と、新しい明日を。 <テーマ> まちづくりを五感で感じよう!

第1部	職場見学・体験	ひとさと48施設見学 ガスコンロ安全機能の体験
第2部	ワークショップ	自分がひとさと48のスタッフ だったら何をしたい?



福岡大学附属大濠中学校 職場体験



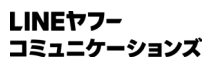
<テーマ> 地球の課題とまちの課題、にしてつグループの事業を通して考えてみよう。

第1部	職場見学・体験	シミュレーターやVRを使ったバスの運転体験
第2部	ワークショップ	西鉄の社長になったつもりで新事業を考えよう



<テーマ> What's Money? ~私たちの生活とお金(銀行)のつながり~

第1部	職場見学・体験	・社内見学 ・1日銀行員体験
第2部	ワークショップ	・賢くお金をふやすには? ~金融教育ゲーム体験~



<テーマ> AI×福岡のまちの暮らし

第1部	職場見学・体験	・オフィスツアー ・AIを使ったサービス/ 福岡市LINE公式アカウントの体験
第2部	ワークショップ	LINEヤフーのサービスを活用し まちの課題に対する解決策を 考えてみよう



福岡大学附属大濠中学校 職場体験

西日本シティ銀行

<テーマ> 商品企画・商品開発を銀行目線で体験しよう!

第1部	職場見学・体験	・富裕層向けの資産運用 相談窓口の見学
第2部	ワークショップ	・金融教育ゲームの体験、 ・金融教育ゲームの改善アイデアを出すワークショップと発表 ・行員との質疑応答



▶参加者の声(一部抜粋)



学生

日常生活や学校では学べない「自分たちのくらしの豊かさ」についてよく学びました。



学生

私たちの提言から改善できることがあって福岡をもっといい街にできたら嬉しいです。



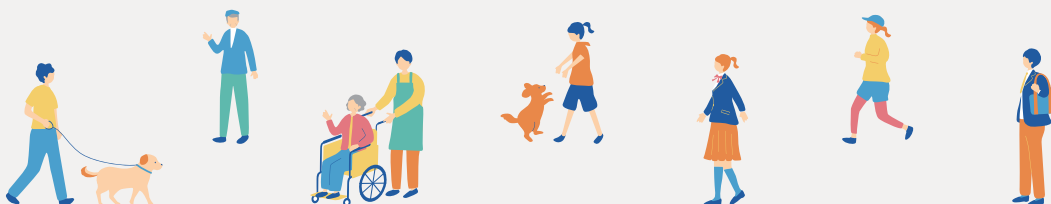
学生

職場体験を通して、楽しみながらメリハリをつけて仕事をされているところを見て、会社で働くことへのイメージが覆りました。



教員

学校内では味わえない体験や魅力溢れる社員の方々を目の前に、生徒・教員ともに、大変勉強になりました。



定例での活動について



※写真はイメージです

▶ 全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。

各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。

▶ 「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。今回のテーマは「自由」。

4~10月期には以下の企業が発表を行いました。

株式会社福岡銀行：GROWTH1のご紹介

西部ガスホールディングス：食事業MILK DO dore iku?、西部ガスの地震防災対策についてのご紹介

嘉穂無線ホールディングス株式会社：GooDay DANCHIのご紹介

株式会社西日本シティ銀行：Fintech・AIで拓く創造力豊かな街づくり

LINEヤフーコミュニケーションズ株式会社：屋台DXプロジェクトについて

福岡地所株式会社：新規事業についてのご紹介

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で複雑化するまちのニーズへ丁寧に向き合い、解決策を社会実装することを通して、福岡が100年先も選ばれるまちになることに貢献してまいります。

(Fukuoka Smart City Community 概要)

名称/Fukuoka Smart City Community

事務局所在地/福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日/2020年10月14日

主な事業内容/市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト/<https://fukuoka.smartcity-community.jp>